

## 旧万世橋駅ホーム・階段遺構と一体化した新商業施設

マ ー チ エ キ ュ ー ト

# 『mAAch ecute 神田万世橋』 9月14日(土)開業

### ～エキナカからマチナカへ エキュートブランドの新業態～

JR 東日本ステーションリテイリングは、東日本鉄道文化財団とともに万世橋高架橋で開発を進めている新たな商業施設名称を『mAAch ecute 神田万世橋』(マーチ エキュート カンダマンセイバシ)に決定しました。

同施設は常設ショップと期間限定ショップを合わせ、合計11ショップで構成され、2013年9月14日(土)に開業します。

かつて交通の要衝であった旧万世橋駅に隣接する神田須田町のシンボルとして愛されてきた万世橋高架橋が、その歴史や記憶を活かしながら、新たに周辺活性型商業施設『mAAch ecute 神田万世橋』として生まれ変わります。

1943年に万世橋が駅としての機能を休止して以来、70年ぶりに公開される通路や階段、各ショップの壁、旧万世橋駅プラットフォームを活用した展望テラスなど、さまざまな箇所旧万世橋駅や交通博物館時代の歴史の痕跡を見ることができる施設空間のなかに、飲食・物販・カフェなどのショップを揃えます。また周辺エリアとつながるオープンエリアや、万世橋がかかる神田川を活かした親水デッキを設けることで、周辺地域の景観に新しい価値を創出します。開業後は地域と密着したイベント等の展開を通じ、地域の賑わいの場を創出していく予定です。



『mAAch ecute 神田万世橋』完成イメージ

ショップについては、現時点で、一般社団法人非営利芸術活動団体コマンド N が手掛けるアートを絡めた初のカフェ(ショップ名未定)と、神田で人気のワイン居酒屋が初の物販を展開するワインショップ“VINOSITY domi(ヴィノシティ・ドミ)”の出店が決定しています。

※未発表部分のショップ情報は、今後発表いたします。

#### 『mAAch ecute』について

JR 東日本ステーションリテイリングが手がけるエキナカ商業施設ブランド「エキュート」の新しい展開ブランド。

##### ■ネーミング:

「まちとのコトづくり」をテーマに、周辺地域と一体となって開発を行い、街の活性化の一翼を担うという意を込めています。

##### ■ロゴマーク:

赤を基調とし躍動感のあるアーチ状のデザイン。多くのお客さまをお迎え入れる「ゲート」を表現。

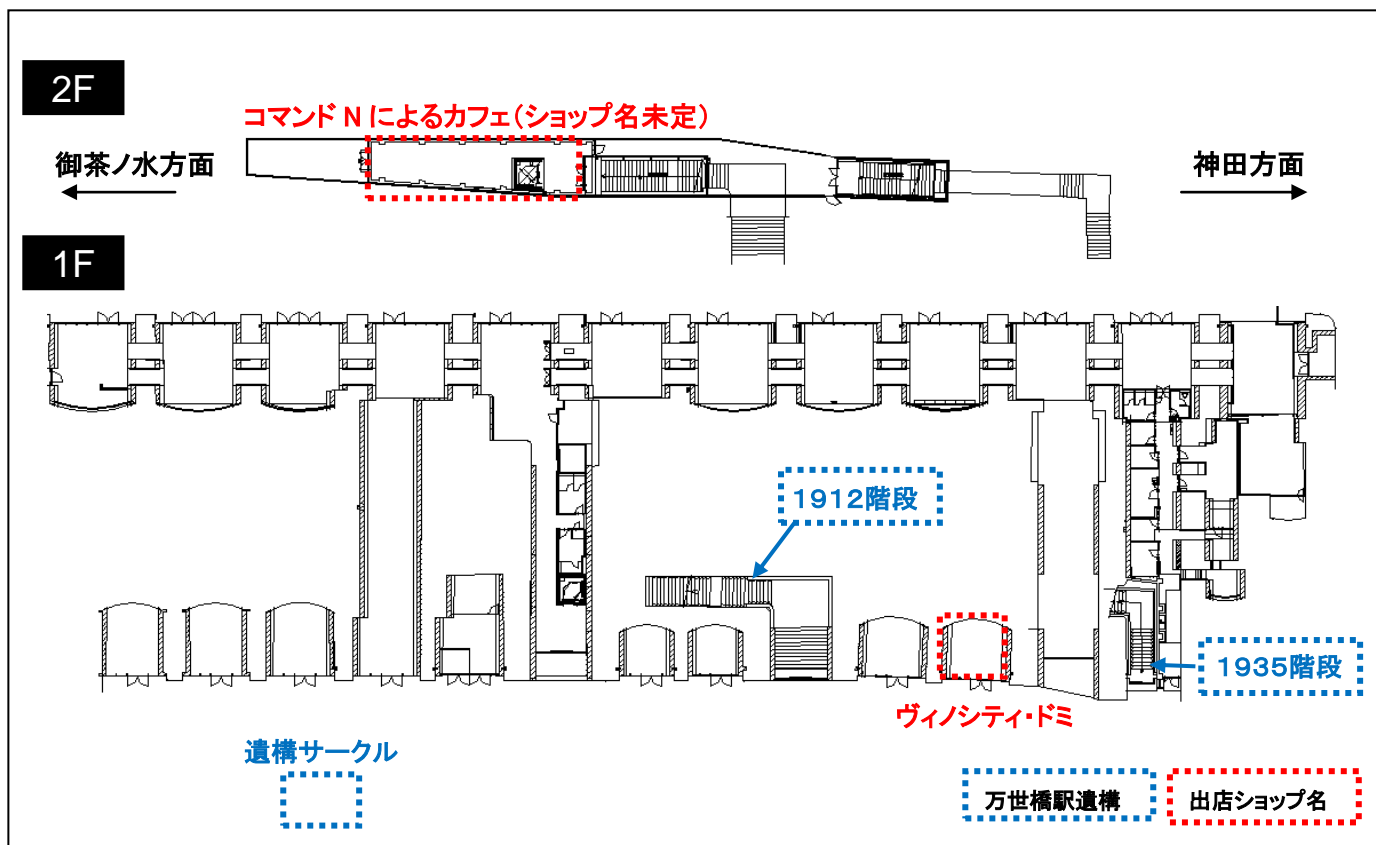
# mAAch ecute

- ▼ ロゴマーク、ブランドネーミング全体統括  
マーケティングマネジャー 川島蓉子氏
- ▼ ロゴマーク考案  
アートディレクター 佐野研二郎氏
- ▼ ブランドネーミング考案  
コピーライター 李和淑氏

#### 本件に関するお問い合わせ先

株式会社 JR 東日本ステーションリテイリング 広報代行 (株)プラップジャパン 栗山・前田・野村  
TEL: 03-4580-9106 FAX: 03-4580-9132 携帯: 080-5887-1095 e-mail: j-kuriyama@prap.co.jp

< mAAch ecute 神田万世橋 施設図面 >



< ショップ情報詳細 >

■「3331 Arts Chiyoda」を手掛ける

一般社団法人非営利芸術活動団体コマンド N による初のカフェが登場

ショップ名:未定

「3331 Arts Chiyoda」は、秋葉原駅に程近い旧練成中学校を改修した新しい形のアートセンターです。“地域に開かれた新たな文化芸術の拠点”として、あらゆるジャンルのアート活動やコミュニティ活動を通し、まちとの関わりを続けています。

その「3331 Arts Chiyoda」の企画に関わり、神田の地で 10 年以上様々な活動を行ってきた一般社団法人非営利芸術活動団体コマンド N が、今回神田万世橋に「食」を起点としたコミュニティアートの拠点を新たにつくります。かつての賑わいの場、旧万世橋駅を舞台に、地域に根付いたアートの力でまちの賑わいを創出します。



撮影 武田陽介



3331 Arts Chiyoda

■神田で人気のワイン居酒屋が初のワインショップを展開

ショップ名:VINOSITY domi(ヴィノシティ・ドミ)

運営:株式会社シャルパンテ(代表取締役:藤森 真)

『VINOSITY』とはラテン語で「ワイン好き」、『domi』とは「お家で」という意味。神田のワイン居酒屋『VINOSITY』のコンセプトである「気軽においしくワインを愉しんでいただく。ワイン好きになっていただく」を、ワインショップとしてご自宅でワインを愉しむための様々な提案をしていきます。

スタッフ自ら産地に足を運びワインをセレクト。「お家飲み最適」、「アウトドアで飲むワイン」、「ご贈答用ワイン」、「こんな料理にはこんなワイン」など様々なシーンに合わせたワインを、VINOSITY のソムリエチームが厳選しオススメです。



VINOSITY

## <万世橋駅遺構 詳細>

### 1912階段

1912年(明治45年)4月、万世橋駅開業の時に作られた階段です。1936年(昭和11年)4月の鉄道博物館(後の交通博物館)時代には、ホームから博物館に直接入館できる特別来館口として使われていました。1943年(昭和18年)に駅が休止してからは公にされることはなく、この度70年ぶりに公開されることとなります。

### 1935階段

鉄道博物館(後の交通博物館)の新館が、ここ万世橋駅に建設されることになり、新たに1935年(昭和10年)に設置されました。1943年(昭和18年)10月の駅休止までの間、ここが駅の階段として使用されました。2006年(平成18年)の交通博物館閉館前は、期間限定でこの階段が公開されていましたが、今回のように一般に公開されるのは1912階段同様、70年ぶりとなります。

### 遺構サークル

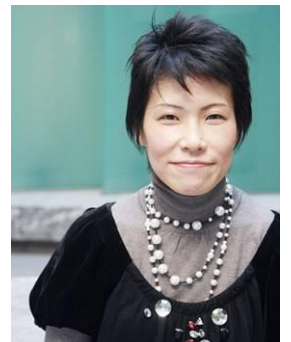
初代万世橋駅駅舎、2代目駅舎、鉄道博物館(後の交通博物館)の3つの建物を交通博物館が2006年(平成18年)に閉館するまでの94年間、支え続けてきた初代駅舎の基礎。その一部を保存し、遺構サークルとして公開しています。

## <ロゴマーク、ブランドネーミングについて>

### ロゴマーク、ブランドネーミング全体統括

#### 川島蓉子(かわしま・ようこ)氏 マーケティングマネジャー

1961年新潟生まれ。早稲田大学商学部卒業、文化服装学院マーチャンダイジング科終了。ifs 未来研究所所長。ファッションという視点で消費者や市場の動向を分析し、アパレル、化粧品、流通、家電、自動車、インテリアなどの国内外の企業と、ブランド開発・デザイン開発などのプロジェクトを行う。多摩美術大学非常勤講師。G マーク審査委員。読売新聞で「くらしにごぼうび」という週刊コラムを連載。その他、日経MJ、ブレーン、日経トレンドなど定期的に寄稿。著書は最新刊「エスプリ思考」(新潮社)をはじめ、「ビームス戦略研究所」(PHP 研究所)、「伊勢丹な人々」(日本経済新聞社)、「松下のデザイン戦略」(PHP 研究所)、「上質生活のすすめ」(マガジンハウス)など多数。



### ロゴマーク考案

#### 佐野研二郎(さの・けんじろう)氏 アートディレクター／クリエイティブディレクター

多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。博報堂を経て、MR DESIGN を設立。2014年より多摩美術大学統合デザイン学科教授に就任。これまで、TOYOTA「ReBORN ドラえもん」「TOYOTOWN」、ミツカン「とろっ豆」、サントリー「南アルプスの天然水」、CASA BRUTUS「ふうせんいぬ Tinny」、日光江戸村「ニャンまげ」、TBS「T ブー! S」、au「LISMO!」、ルミネ「チェックザバーゲン」、山形県新米「つや姫」、名古屋市「東山動植物園」などのロゴマーク、キャラクターデザイン、グラフィック、TVCM などのアートディレクションなどを手がける。オリジナルプロダクトである nico プロダクトは MoMA/ニューヨーク近代美術館、コレット(パリ)、森美術館(東京)など世界各国で販売中。受賞歴に、ONE SHOW DESIGN(ニューヨーク)金賞など、多数。



### ブランドネーミング考案

#### 李和淑(り・わしゅく)氏 コピーライター／クリエイティブディレクター

サン・アド在籍後、スプリングを設立。スズキ「ワゴン R」渡辺謙シリーズ、ファッション「松本潤のまつげやさん」、第四銀行140周年記念 PR「あなたと輝く」、フィンランド航空「近道する飛行機」などを手がける。また、テレビ東京「勝手にキャッチコピー委員会」に出演するなど、活躍の幅を広げている。



※リリース内の画像使用をご希望の場合は、お問合せください。

なお、下記画像に関しては、それぞれキャプションを入れて頂きますようお願い申し上げます。

・リリース1ページ目『mAAch ecute 神田万世橋』完成イメージの画像→提供: JR 東日本ステーションリテイリング

・リリース2ページ目『3331 Arts Chiyoda』の上段の画像→撮影: 武田陽介